

# 競技注意事項

## 1. 規則

競技は2023年度（公財）日本陸上競技連盟規則及び本大会要項、申し合わせ事項によって行う。

## 2. 練習

- ① 練習は、危険防止に十分注意して行う。練習場所は競技場内もしくは競技場外園路とする。（公園側園路は禁止。）
- ② 会場への投てき物の持ち込みは禁止とする。
- ③ トラック競技開始 15 分前までは競技場を開放する。
- ④ フィールド競技の練習は、招集完了後役員の指示により競技場で行う。
- ⑤ 雨天走路は選手待機場となるため、開放しない。

## 3. 招集

- ① 招集は競技者係の指示に従い、本人が受けること。
- ② 招集時刻及び完了時刻は下記の通りとする。

種目		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技		競技開始 30 分前	競技開始 15 分前
フィールド 種目	走高跳・走幅跳・砲丸投・円盤投	競技開始 45 分前	競技開始 30 分前
	棒高跳	競技開始 60 分前	競技開始 45 分前

- ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権とみなして処理する。
- ④ 競技者は、招集開始時刻から招集所において点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技用シューズ、衣類の点検を受ける。その後、現地に移動をし、現地で最終確認を受ける。
- ⑤ トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右尻部につけること。（リレー競技は第4走者のみ）
- ⑥ 出場する種目を棄権する場合、招集開始時刻までに TIC に申し出をし、棄権届を提出する。
- ⑦ 複数種目を兼ねて出場する場合には、その旨を競技者係及び該当競技役員に申し出、その指示に従うこと。
- ⑧ ウォーミングアップ中のケガ等により棄権をする場合には TIC に棄権届を提出すること。

## 4. 入退場

- ① 招集が完了した者は、競技役員の指示・誘導に従ってスタート地点（ピット）に荷物をもって移動する。
- ② トラック競技はレース終了後、競技役員の指示に従って退場する。（本部前は競技役員の指示がない限り、通行することはできない。）
- ③ フィールド競技は競技終了後、競技役員の指示に従って退場する。
- ④ 競技終了後、腰ナンバーカードをゴール地点にあるカゴに入れる。

## 5. アスリートビブス

- ① アスリートビブスは、JAAF. START 及び千葉県中学校体育連盟に登録してあるものを使用する。
- ② アスリートビブスは胸(腹ではない)と背に、しわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。ただし、跳躍競技については1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでもよい。

## 6. トラック競技について

- ① 800m未満の競技はラウンド制とし、800m以上の競技はタイムレースとする。
- ② ハードル競技及びリレー競技はラウンド制とする。

## 7. フィールド競技について

- ① 走高跳・棒高跳を除くフィールド競技は3回の試技を行い、記録上位8名でさらに3回行う。6回の試技の最高記録で順位を決定する。
- ② 複数種目を兼ねて出場する場合には、その旨を競技者係及び該当競技役員に申し出、その指示に従うこと。ラウンド中の試技順の変更は当該競技役員の指示によるが、次のラウンドに移った場合は、パス扱いとする。申し出を怠った競技者は棄権とみなす。

- ③ 棒高跳支柱移動申告について、競技者は競技開始 30 分前までに当該審判員に希望する支柱の位置申告をすること。もし、競技者がその位置を変更したい時は直ちに当該審判員に申告すること。
- ④ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、審判長の指示によって変更する場合もある。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
男子走高跳	1m15/1m50	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以降3cmずつ ※中学男子は 170cmまで5cm 以降3cmずつ
女子走高跳	1m00/1m30	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	
男子棒高跳	2m00/3m00	2m00	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	以降10cmずつ
女子棒高跳	1m60/2m50	1m40	1m60	1m80	2m00	2m20	2m30	2m50	2m70	2m90	

## 8. 競技からの除外

競技運営上必要と認めた場合、審判長がレース中の競技者を中止させることがある。

## 9. リレー競技について(リレーオーダー用紙は TIC に用意してあります)

- ① リレー競技に出場するチームはラウンド毎に、リレーオーダー用紙を1部作成し、招集完了時刻の60分前までに TIC に提出すること。(顧問のサインを忘れないこと)
- ② 招集は出場選手全員がそろった状態で、招集所にて行う。
- ③ リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- ④ バトンとダッシュマークは、大会本部で用意したものを使用する。(バトンは第1走者のみ。)

## 10. 用器具

- ① 棒高跳のポール以外は、競技場備え付けのものを使用する。
- ② スパイクの長さは、走高跳は12mm、その他は9mm以下とする。
- ③ シューズ(スパイク・ランニングシューズを含む)の厚さについての今大会の規定は以下の表に準ずる。

種目	靴底の最大の厚さ (TR5.5, TR5.13.3)	要件・備考
投擲種目・跳躍種目	20mm	全投擲種目と高さを競う跳躍種目に適用。 全投擲種目と跳躍種目で靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 ※ハードル種目を含み 800m未満の種目	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて、適応する。
トラック種目 ※800m以上の種目	25mm	リレーにおいては各走者が走る距離に応じて適応する。

## 11. 抗議

日本陸上競技連盟、競技規則 TR8 による。

## 12. 表彰および学校対抗得点について

- ① 個人表彰は、1位～8位まで賞状を授与する。男女総合の部、男子総合の部、女子総合の部を設け、各種目1位が8点、2位が7点・・・8位が1点とする。
- ② 男女総合の部の優勝校には優勝杯および賞状、男子総合の部、女子総合の部の優勝校には優勝杯と賞状、各部門の2位～8位までの学校には賞状を授与する。

## 13. 第48回千葉県中学校新人陸上競技大会への参加について

- ① 個人種目は、標準記録突破者および支部推薦者1名とする。支部推薦者は、標準記録を突破していない者の中から、本大会の最上位者とする。ただし、円盤投げを除く。
- ② リレーの出場は男女それぞれ最大5チームとなる。標準記録を突破したチームが5チーム以上いる場合、そのチームの中から共通リレー決勝順位上位チームを選出することとする。

#### 14. その他

- ① プログラム記載事項に訂正がある場合には、顧問が取りまとめ、競技役員打ち合わせ開始前までに訂正内容を持ってTICまで申し出ること。
- ② 各種目の結果発表は、アナウンスで行わず、競技場正面入り口外の掲示スペースにて掲示する。次ラウンドへの進出の可否は、記録掲示によって各自確認をすること。
- ③ セパレートレーンを使用する競技においては、フィニッシュ後は該当レーンに沿って走り抜けること。
- ④ ホームストレート側(本部前からフィニッシュライン付近まで)を通行しないこと。ただし、競技終了後の選手のみ役員の指示のもと通行可とする。
- ⑤ 競技場内外のアスファルト部分へはスパイクでの侵入は厳に慎むこと。また、応援のために競技場内の芝生内、スタート位置後方、フィニッシュ位置後方に出ないこと。
- ⑥ 競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者側で行うが、以後の責任は負わない。救護室に搬送された際は、記載責任者に連絡をする。
- ⑦ 更衣室では更衣のみを行い、私物等を置かないこと。
- ⑧ 各自の持ち物は、自分で管理し、盗難されないように注意すること。主催者で預かった物品については、一時本部で保管するが、その他の物品の盗難や紛失については、一切の責任を負わない。
- ⑨ ゴミについては、各自必ず持ち帰り、競技場・駅・バス停など公共の場に捨てないこと。
- ⑩ 競技場外(植え込み等)でのテント張りは厳禁とする。
- ⑪ テントやタープはロープなどを使って手すりなどに固定し、強風で飛ばないようにすること。横断幕やのぼりの設置は、スタンド上部の手すりおよびスタンド両脇の手すりのみとし、確実に固定すること。また、設置は開門時間以降に、各校ゆずり合って行うこと。
- ⑫ 競技者が号砲前にグラウンド(地面)及びフットプレートから手や足を離した場合、不正スタート(フライング)となり、当競技者は失格となる。
- ⑬ スターターより「ON YOUR MARKS」がかかったら、選手が集中できるように競技場全体で音を出さないように配慮すること。スタートの付近では特に気をつけること。
- ⑭ 熱中症予防策として、日本スポーツ協会が定める熱中症予防運動指針に従い、WBGT31℃を超えた場合には競技を中断し、本部で協議する。原則としてWBGT31℃以下になるまで競技は中断とし、中断時間が2時間を超える場合には本大会の以後の競技については中止とする。
- ⑮ 生徒による携帯電話・スマートフォン・ビデオカメラ・音楽再生機器等の電子機器の使用は禁止とする。保護者の撮影はメインスタンドのみ可とする。顧問による撮影は指導に生かすための撮影のみ可とする。